

<IPA 情報発信第 147 号の内容>

I. 今月のトピックス

1. 「情報セキュリティ白書 2016」の発行

国内外で発生した注目すべき情報セキュリティインシデントや新たな攻撃の手口、サイバーセキュリティ基本法等の新制度の導入に伴う政府・企業の取り組みをはじめ、情報セキュリティ全般に関する事例や状況をまとめた書籍「情報セキュリティ白書 2016」を 7 月 15 日 (金) に発行しました。

2. 「文字情報基盤データベース」の公開

文字情報基盤事業で整備した 6 万文字について、読み、部首、人名漢字に係る法務省通達情報などの各種文字情報と、文字間の関連性など多様な情報を収めた「文字情報基盤データベース」を 7 月 8 日 (金) に公開しました。

3. 平成 28 年度秋期「情報処理技術者試験」の受験申込みの受付を開始

10 月 16 日 (日) に実施する平成 28 年度秋期情報処理技術者試験の受験申込みの受付を 7 月 11 日 (月) から開始しました。インターネット申込みの締切日時は、8 月 19 日 (金) 20 時です。

II. 情報セキュリティ

1. 「交通広告グランプリ 2016 企画部門・優秀作品賞」を受賞
2. 脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」の登録状況
3. ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況
4. コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況および相談状況
5. 重要なセキュリティ情報 (7 月)

III. ソフトウェア高信頼化

1. 「Embedded Technology West 2016 (ETWest 2016) / 組込み総合技術展 関西」への出展
2. 「統計指標に基づく品質マネジメント実践集」の公開
3. IoT 時代に向けた『つながる世界の開発指針』と『つながる世界のセーフティ&セキュリティ設計入門』の英文版を公開
4. 「SEC journal」第 45 号を発刊
5. 「組込みソフトウェア開発データ白書 2015」及び「組込みソフトウェア向け プロジェクトマネジメントガイド [定量データ活用編]」PDF 版を公開
6. 「IT 検証フォーラム 2016」への出展
7. 「札幌 IT イノベーション人材育成ワークショップ」にて講演
8. 「安全のための計測・制御・システムを考える会 サロン」にて講演
9. 2016 年度第 2 回 ITC 近畿会セミナー「IPA 活動報告セミナー」にて講演
10. SEC セミナー開催報告 (7 月) および開催案内 (8 月)

IV. 国際標準の推進

1. 「IPAmj 明朝フォント、MJ 文字情報一覧表および MJ 縮退マップ」のバージョンアップ

V. IT 人材の育成

1. 「IT を駆使したグローバル競争力強化のために～i コンピテンシ ディクショナリを用いた経営改革の実現と情報セキュリティ施策～」を開催

I. 今月のトピックス

1. 「情報セキュリティ白書 2016」の発行

～2015年度の情報セキュリティ分野の脅威や攻撃の現状、および対策や法制の動向を解説～

(担当理事(本部長補佐): 頓宮、担当センター長: 江口)

IPAは、国内外で発生した注目すべき情報セキュリティインシデントや新たな攻撃の手口、サイバーセキュリティ基本法等の新制度の導入に伴う政府・企業の取り組みをはじめ、情報セキュリティ全般に関する事例や状況をまとめた書籍「情報セキュリティ白書 2016」を7月15日(金)に発行しました。

「情報セキュリティ白書」は、企業・組織のシステム開発者や運用者を対象に、情報セキュリティインシデントや攻撃の現状の把握、および対策の実践に役立つ情報を提供すること、また、パソコンやスマートフォンを使用する一般の利用者に対しても、身近にある情報セキュリティ上の脅威への認識を促すことを目的に制作しています。

「情報セキュリティ白書 2016」では、情報セキュリティにおけるあらゆる状況を俯瞰し、情報セキュリティインシデントの具体的事例や攻撃の手口、政策や法整備の状況等を網羅しています。また、昨年に引き続き“自動車”、“制御システム”、“IoT”に関する情報セキュリティを注目すべきテーマとして取り上げています。なお、3月31日に公開した「情報セキュリティ 10大脅威 2016」も第二部に収録しています。

「情報セキュリティ白書 2016」の印刷書籍版は、IPA、全国官報販売協同組合販売所およびAmazon等から購入できます。

発行：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

印刷書籍版：2016年7月15日発行

電子書籍版：2016年8月8日発行予定

ISBN 978-4-905318-41-5

ISBN 978-4-905318-42-2

定価：本体2,000円(税別)

定価：本体1,600円(税別)

ソフトカバー／A4判

「情報セキュリティ白書 2016」の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/about/press/20160714.html>

2. 「文字情報基盤データベース」の公開

(担当理事(本部長)：川浦、担当センター長：田代)

IPAは、文字情報基盤事業で整備した6万文字について、読み、部首、人名漢字に係る法務省通達情報などの各種文字情報と、文字間の関連性など多様な情報を収めた「文字情報基盤データベース」を7月8日(金)に公開しました。

読みや部首などが分からなくても、文字の図形的要素から検索できるよう、人に優しい検索手段を設けたほか、閣議決定「世界最先端IT国家創造宣言」のオープンデータ普及の趣旨に沿い、WebAPIを通じ機械可読性の高い形式で情報を取り出す手段を設けています。

一般の利用者から専門家まで、また、人とコンピュータとの対話的な活用から、コンピュータを直接接続した機械的な活用まで、様々な人が様々な場面で文字情報をより活用しやすくしたシステムとなっています。

「文字情報基盤データベース」の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://mojikiban.ipa.go.jp/1bf7a30fda/>

3. 平成28年度秋期「情報処理技術者試験」の受験申込みの受付を開始

(担当理事(本部長)：川浦、担当センター長：高橋)

IPAは、10月16日(日)に実施する平成28年度秋期情報処理技術者試験(所管：経済産業省)の受験申込みの受付を7月11日(月)から開始しました。受験の申込みは、郵送やインターネットで行えます。申込方法によって締切日時が異なりますのでご注意ください。

■ 個人申込み

郵送申込み : 7月11日(月) ~ 8月8日(月) 消印有効

インターネット申込み : 7月11日(月)10時 ~ 8月19日(金)20時

■ 団体経由申込み

7月11日(月) ~ 8月8日(月)

※申込方法によって、締切時間が異なります。

実施する試験区分や願書の入手方法など、「平成28年度秋期情報処理技術者試験」の詳細については、次のURLをご覧ください。

http://www.jitec.ipa.go.jp/1_02annai/h28aki_exam.html

なお、「iパス」(ITパスポート試験)については、GBT方式にて随時試験実施中です。申込方法などの詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

Ⅱ. 情報セキュリティ

1. 「交通広告グランプリ 2016 企画部門・優秀作品賞」を受賞

(担当理事 (本部長補佐) : 頓宮、担当センター長 : 江口)

2015年4月3日(金)から4月9日(木)までの7日間、JR原宿駅で開催された第44回『原宿ファッションジョイボード文化展』にて、同駅の線路沿いの大型看板17面を使い掲出したパスワードの大切さをテーマとするIPAのポスター「パスワードもっと強くキミを守りたいー」が、7月25日(月)に株式会社ジェイアール東日本企画の主催する「交通広告グランプリ2016」において「企画部門・優秀作品賞」を受賞しました。

今回受賞したこれらの作品は10代を中心とした若い世代の皆さんに向けて、ネットサービスでの不正ログインの被害を防ぐためにパスワードの強化を啓発するための取り組みとして制作しました。パスワードは「長く」「複雑に」「使い回さない」といったパスワードを強化するメッセージを高校生の男女による15シーンの恋愛ストーリー一風のマンガで表現して発信しています。

「交通広告グランプリ2016 企画部門・優秀作品賞」受賞の詳細については、次のURLをご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/munekyun-pw/announce20160726.html>

2. 脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」の登録状況 [2016年第2四半期(4月~6月)]

(担当理事 (本部長補佐) : 頓宮、担当センター長 : 江口)

IPAは、2016年第2四半期(4月~6月)の脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」(ジェイブイエヌ アイ・ペディア)の登録状況を「脆弱性対策情報データベース JVN iPedia に関する活動報告レポート」としてまとめ、7月26日(火)に公開しました。

今期に、脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」日本語版に登録された脆弱性対策情報は1,762件で、2007年4月25日の公開開始からの登録件数は累計61,309件となりました。

脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」の登録状況の詳細については、次のURLをご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/security/vuln/report/JVNiPedia2016q2.html>

3. ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況 [2016 年第 2 四半期 (4 月～6 月)]

(担当理事 (本部長補佐) : 頓宮、担当センター長 : 江口)

IPA は、2016 年第 2 四半期 (4 月～6 月) の脆弱性関連情報の届出状況を「ソフトウェア等の脆弱性関連情報の取扱いに関する活動報告レポート」としてまとめ、7 月 21 日 (木) に公開しました。

今期の脆弱性情報の届出件数は 753 件で、内訳はソフトウェア製品に関するものが 690 件で累計 3,162 件、ウェブサイトに関するものが 63 件で累計 9,263 件でした。これにより、2004 年 7 月の届出受付開始からの累計は 12,425 件となりました。

ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/report/vuln2016q2.html>

4. コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況および相談状況 [2016 年第 2 四半期 (4 月～6 月)]

(担当理事 (本部長補佐) : 頓宮、担当センター長 : 江口)

IPA は、2016 年第 2 四半期 (4 月～6 月) のコンピュータウイルス・不正アクセスの届出および相談の状況をまとめ、7 月 25 日 (月) に公開しました。公開内容の概要は、以下のとおりです。

(1) コンピュータウイルス届出状況

今期のウイルス届出件数は 498 件 (前期比 約 21%減) でした。ウイルス検出数は 1,269 個 (前期比 約 25%減)、不正プログラム検出数は、167,460 個 (前期比 約 25%増) でした。

(2) コンピュータ不正アクセス届出状況

今期の不正アクセス届出件数は 22 件 (前期比 約 4%減) でした。

(3) 情報セキュリティ安心相談窓口の相談状況

今期のウイルス・不正アクセス関連の相談件数は 3,914 件 (前期比 約 3%増) でした。

コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況および相談状況の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/txt/2016/q2outline.html>

5. 重要なセキュリティ情報（7月）

（担当理事（本部長補佐）：頓宮、担当センター長：江口）

IPAでは、インターネットを使っている多くの利用者が影響を受けるセキュリティ対策情報を対象に「重要なセキュリティ情報¹」として公開しています。

「重要なセキュリティ情報」とは、放っておくと不正アクセスやデータが盗まれるなどの危険性が高いセキュリティ上の問題と対策についてお伝えするもので、IPA情報発信では2013年12月より広く啓発するため記載しています。発信情報から、ご自身のPCやシステムへの影響を判断の上、速やかな対策を心がけてください。

7月は、「緊急」1件、「注意」4件を公開しました。

重要なセキュリティ情報の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/announce/alert.html>

Ⅲ. ソフトウェア高信頼化

1. 「Embedded Technology West 2016（ETWest 2016）／組込み総合技術展 関西」への出展

（担当理事（本部長）：川浦、担当所長：松本）

IPAは、事業成果普及のため、7月7日（木）及び7月8日（金）に開催された「Embedded Technology West 2016（ETWest 2016）／組込み総合技術展 関西」に出展しました。

ETWest2016は、一般社団法人組込みシステム技術協会（JASA）の主催による、日本の組込み業界をリードする企業などが多数参加し、製品・ソリューション展示やカンファレンスによって組込みシステム開発に関わる技術者や開発者に向けた情報発信を行うイベントです。

今回、IPAではIoT時代に向けた組込みシステムの高信頼化の取り組みを中心とした展示（パネル・デモ・関連資料配布）や、ITに関する最新技術動向について紹介する「SEC先端技術入門ゼミ」および「ブースプレゼンテーション」を実施しました。また、併設会場にてIPAの取り組みなどを解説する「IPA特別講演」および「IPAセッション」を同時開催しました。

当日は、全来場者の約40%に当たる約2,000名の方にご来場いただき、来場者からは「配布している書籍や冊子が充実していてありがたい」、「IoTのセキュリティの重要性についてよくわかった」といったご意見を頂きました。

¹ 「重要なセキュリティ情報」は、次の基準で対策の緊急度を表しています。

「緊急」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報でかつ、当該問題を悪用した攻撃が実際に行われているケース。

「注意」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報又は、当該問題を悪用した攻撃が行われる可能性があるケース。

「Embedded Technology West 2016 (ETWest 2016) /組込み総合技術展 関西」出展の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/events/20160707.html>

2. 「統計指標に基づく品質マネジメント実践集」の公開

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、ソフトウェア開発における品質マネジメントにベンチマーキング²を導入するためのポイントや企業での実際の導入例などを解説した手引「統計指標に基づく品質マネジメント実践集」を7月1日(金)に公開しました。

本書を参照することで、IPA が収集・公開しているプロジェクトデータ³や個々の企業が持つプロジェクトデータを資産として活用し、ソフトウェア開発における品質保証や工期の妥当性評価などに利用することができます。

本書の普及・導入促進を通じて IPA は、ソフトウェア開発の生産性と信頼性の向上に貢献していきます。

「統計指標に基づく品質マネジメント実践集」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20160701.html>

3. IoT 時代に向けた『つながる世界の開発指針』と『つながる世界のセーフティ&セキュリティ設計入門』の英文版を公開

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、7月29日(金)に「つながる世界の開発指針」及び「つながる世界のセーフティ&セキュリティ設計入門」の英文版を公開しました。

「つながる世界の開発指針」は、IoT を構成する機器やシステムのセーフティ・セキュリティ設計のポイントを開発者の方々に示すことにより、IoT の安全・安心の実現を目指すものです。本指針の内容のほとんどが総務省、経済産業省及び IoT 推進コンソーシアムが7月5日(火)に公表した「IoT セキュリティガイドライン」に盛り込まれています。

「つながる世界のセーフティ&セキュリティ設計入門」はセーフティ設計・セキュリティ設計の重要性を経営層に啓発するとともに、現場の技術者に対して、どのような設計手法でセーフティ設計・セキュリティ設計を実現すべきかを示す入門ガイドです。

² 良い成績を収めているプロジェクト群と比較し、それらのやり方(開発プロセス、マネジメント・プロセス、組織の特性など)を参考にして、自組織の業務改善及び組織の改善を進めること。

³ ソフトウェア開発データ白書 <http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20141008.html>

両書の英文版を公開したことで、海外への開発委託や事業展開にご利用いただき、IoT 製品の世界的な信頼性向上や IoT 分野における日本企業の競争力向上の一助となることを期待しています。

「つながる世界の開発指針」及び「つながる世界のセーフティ&セキュリティ設計入門」英文版の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20160729.html>

4. 「SEC journal」第 45 号を発刊

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、「SEC journal」第 45 号を 7 月 1 日 (金) に発刊しました。「SEC journal」は、2005 年 1 月に創刊号発行以来、毎年 4 回発行しており、SEC の活動成果やソフトウェア開発に関する事例や論文を掲載しています。

「SEC journal」第 45 号の主な掲載記事は、以下のとおりです。

- ・ 所長対談 : 人工知能と人間の共進化
リクルート AI 研究所 R. I. T (Recruit Institute of Technology)
推進室 室長 石山 洸 氏
- ・ 論文 : ソフトウェア開発記録の多次元データ分析に向けた可視化方式
Treemap Forest の設計と実証的評価
- ・ 特集 : SEC 2015 年度活動概要
- ・ 報告 : 米国における有力組織との意見交換
- ・ 技術解説 : システム理論に基づくアクシデントモデル STAMP

「SEC journal」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/secjournal/index.html>

5. 「組込みソフトウェア開発データ白書 2015」及び「組込みソフトウェア向け プロジェクトマネジメントガイド [定量データ活用編]」PDF 版を公開

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、7 月 6 日 (水) に「組込みソフトウェア開発データ白書 2015」及び「組込みソフトウェア向け プロジェクトマネジメントガイド [定量データ活用編]」の PDF 版を公開しました。

両書は、組込みソフトウェア開発において、開発プロジェクトの進捗や品質の状況を定量的に把握し、プロジェクトの生産性や工数などを見積もったり、リスク顕在化の兆候を速やかに把握したりするためのデータとノウハウを提供するものです。今回 PDF 版を公開したことで、より多くの方にご利用いただき、組込みソフトウェアの生産性向上や品質向上の一助となることを期待しています。

「組込みソフトウェア開発データ白書 2015」及び「組込みソフトウェア向け プロジェクトマネジメントガイド [定量データ活用編]」PDF 版の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20160705.html>

6. 「IT 検証フォーラム 2016」への出展

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、7 月 13 日 (水) に東京大学 伊藤国際学術研究センター (東京都文京区) で行われた「IT 検証フォーラム 2016」に出展しました。

本フォーラムは、IT 検証 (テスト・評価) サービス業界の健全な発展と産業としての確立に取り組んでいる一般社団法人 IT 検証産業協会 (IVIA) が主催するもので、今年度は、『IoT 時代の第三者検証』～つながる社会のソフトウェア・セキュリティ検証～」をテーマとした講演と展示が行われました。

IPA は、このテーマに関連して『つながる世界の開発指針』～安心安全な IoT の実現にむけて～』というテーマで、パネル展示と関連書籍の配布を行いました。

当日は多くの方にブースにお立ち寄りいただき、IoT に関する課題と各社での取組みについて貴重なご意見を頂きました。IPA では、これらのご意見を踏まえて今後も各業界団体と連携した IoT への取組みとその成果普及を継続していきます。

「IT 検証フォーラム 2016」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ivia.or.jp/item/171/>

7. 「札幌 IT イノベーション人材育成ワークショップ」にて講演

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、7 月 18 日 (月) から 7 月 19 日 (火) にかけて TKP 札幌駅カンファレンスセンター (北海道札幌市) で行われた「札幌 IT イノベーション人材育成ワークショップ」にて講演しました。

本ワークショップは、札幌市の主催による、IT 企業の営業担当、事業企画担当などを対象に新たな価値を持つ製品・サービスの創出を行うことができる人材の育成に向けた実践事例の普及を目的としたものです。IPA は、「成熟モデルとスキル指標の解説」、「GQM+Strategies の活用手法について」の 2 つのテーマで講演した後、講演内容を実践するワークショップの講師も務めました。

参加者からは「講演については大変参考になった。ワークショップは実際に活用できる内容で、職場で展開して活用したい」といったご意見を頂きました。IPA では、これらのご意見を踏まえて今後も各地域の IT 企業への成果普及を継続していきます。

「札幌 IT イノベーション人材育成ワークショップ」の詳細については、次の URL をご覧ください。

http://www.hicta.or.jp/index_oshirase_detail.php?id=832

8. 「安全のための計測・制御・システムを考える会 サロン」にて講演

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、7 月 21 日 (木) に慶応義塾大学 日吉キャンパス (神奈川県横浜市) で行われた「安全のための計測・制御・システムを考える会 サロン」にて講演しました。

本サロンは、公益社団法人計測自動制御学会の主催による、産学の研究者を対象に、自動車や化学プラントといった人の安全に関わる装置を制御するシステムの安全性の向上を議論する目的で開催したものです。IPA は、「安全解析手法 STAMP/STPA の進め方」というテーマで講演を行いました。

IPA では、今後も研究者へ向けた成果の紹介を行い、議論によって得られた知見を広く産業界へ普及していきます。

9. 2016 年度第 2 回 ITC 近畿会セミナー「IPA 活動報告セミナー」にて講演

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、7 月 23 日 (土) に大阪市立総合生涯学習センター (大阪府大阪市) で行われた 2016 年度第 2 回 ITC 近畿会セミナー「IPA 活動報告セミナー」にて講演しました。

本セミナーは、特別非営利活動法人 ITC 近畿会が主催し、関西地区 (大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県、福井県) を中心に活動している IT コーディネータを主対象に、一般 IT 技術者も対象に加えて、IPA 成果の普及と参加者のスキルアップ等を目的に開催したものです。IPA は、「IoT 時代における、つながる世界に潜む脅威 ～リスクの認識と対策への取り組み～」および「事例から学ぶ、組込みシステムの高信頼化へのアプローチ ～教訓共有の仕組みの説明と教訓集の紹介～」の 2 つのテーマで講演を行いました。

参加者からは「システムがつながる世界においては、様々な事故や人命に関わるリスクがあることを学べた」といったご意見を頂きました。IPA では、これらのご意見を踏まえて今後も各地域の技術者へ向けた成果の普及活動を継続していきます。

2016 年度第 2 回 ITC 近畿会セミナー「IPA 活動報告セミナー」の詳細については、次の URL をご覧ください。

https://itckinki.jp/article.php/20160723_2nd_seminar

10. SEC セミナー開催報告（7月）および開催案内（8月）

（担当理事（本部長）：川浦、担当所長：松本）

IPAは、事業成果を広く普及・啓発することを目的としたセミナー、ソフトウェア・エンジニアリングに関する国内外の最新動向などを紹介する特別セミナーをそれぞれ実施しています。

7月は、次の日程で実施しました。

- ・「共通フレーム解説とプロセス改善推進セミナー ～ソフトウェア開発プロセスにおける組織の課題を見つけて改善するために～」（7月11日）
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160711.html>
- ・「事例から学ぶ IT サービスの高信頼化へのアプローチ ～システム障害事例分析から導出した教訓共有のすすめ（演習付）～」（7月22日）
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160722.html>
- ・「IoT セキュリティの実現に向けて ～IoT 時代のリスク対策に役立つ3つの指針・ガイドラインの紹介～」（7月25日）
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160725.html>
- ・「上流工程での合意形成を目指して ～非機能要件と外部設計の合意形成のための手法とコツ～」（7月27日）
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160727.html>
- ・「第2回定量的マネジメントセミナー」（7月29日）
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160729.html>

8月は、次の日程で開催を予定しています。

- ・「『ゴール指向経営』で的を射た IT 投資、利益を生む組織に ～「GQM+Strategies」の活用で組織内の整合性確保と定量的管理を実現～」（8月5日）
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160805.html>
- ・「SEC 高信頼化技術適用事例セミナー IoT 時代、人を優先したものづくりで新たな価値を～HCD、UX 適用事例紹介～」（8月24日）
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160824.html>
- ・「統計指標に基づくベンチマーキングによる信頼性・生産性向上へのアプローチ ～「ソフトウェア開発データ白書」を活用した具体的な推進方法の紹介～」（8月29日）
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160829.html>

IV. 国際標準の推進

1. 「IPAmj 明朝フォント、MJ 文字情報一覧表および MJ 縮退マップ」のバージョンアップ

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当センター長 : 田代)

IPA は、閣議決定「世界最先端 IT 国家創造宣言」に沿って進めている文字情報基盤事業の成果物をバージョンアップし、「MJ 文字情報一覧表 Ver. 005. 01」、「IPAmj 明朝フォント Ver. 004. 01」および「MJ 縮退マップ Ver. 1. 1. 0」を 7 月 8 日 (金) に公開しました。

今回のバージョンアップでは、46 文字を追加し、関連する情報 (主に戸籍統一文字との対応、住民基本台帳ネットワークシステム統一文字との対応) を更新しています。また、「MJ 文字情報一覧表」では、従来の表形式 (Microsoft Office、OpenOffice などの形式) に加え、より機械可読性の高い XML 形式での提供を新たに追加しました。

「MJ 文字情報一覧表、IPAmj 明朝フォントおよび MJ 縮退マップのバージョンアップ」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://mojikiban.ipa.go.jp/4690.html>

V. IT 人材の育成

1. 「IT を駆使したグローバル競争力強化のために～i コンピテンシ ディクショナリを用いた経営改革の実現と情報セキュリティ施策～」を開催

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当センター長 : 秋元)

IPA は、セミナー「IT を駆使したグローバル競争力強化のために～i コンピテンシ ディクショナリを用いた経営改革の実現と情報セキュリティ施策～」を 7 月 12 日 (火) にニッショーホール (東京都港区) で開催しました。

本セミナーでは、「i コンピテンシ ディクショナリ」(以下「iCD」という。)の最新動向として 6 月 6 日 (月) に公開した「iCD2016」を紹介しました。基調講演では、IEEE-CS⁴ の Vice President のアンディ・チェン氏に、「グローバル視点から見た ICT 人材育成の未来像」についてご講演いただきました。また、iCD 活用企業認証制度で高いレベルの認証を受けた 3 社による活用事例発表を行い、情報セキュリティ人材の施策などについての説明もあわせて実施しました。

本セミナーは、270 名を超える方々にご来場いただくとともに、来場者アンケートで

⁴ IEEE-CS: Institute of Electrical and Electronics Engineers-Computer Society (アメリカに本部を持つ電気・電子工学技術の学会である IEEE 内に設置された Society の一つ。)

は、セミナー内容について約8割の方に「満足」もしくは「ほぼ満足」とご回答いただきました。「iCDに関心を持った、活用事例紹介が有益だった。」といったご意見を多数頂く一方で、「もっと活用事例の発表が聞きたい」「活用の具体的な方法が知りたい」とのご意見も頂きました。

IPAは、今回頂いたご意見などを今後の事業に活かすとともに、引き続き積極的な情報提供に努めていきます。

今後もITを利活用する様々な組織・個人が共通して参照する「人材育成のプラットフォーム」としてiCDが発展していくことを期待しています。

本セミナーの詳細については、次のURLをご覧ください。

http://www.ipa.go.jp/jinzai/hrd/event_20160712.html

問合せ先 独立行政法人情報処理推進機構
戦略企画部 企画・調査G 笛木・野村
〒113-6591
東京都文京区本駒込二丁目28番8号
文京グリーンコートセンターオフィス
TEL : 03-5978-7503
E-mail : spd-plan@ipa.go.jp